

常任委員会での協議内容（平成26年9月分）

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容等
1	今年の4月から白山ろく振興課が北庁舎に移転し、本庁よりさらに遠くなった。どうして鶴来地域や白山ろく地域に移転できなかったのか。	執行部に伝えて、議会でも検討していく。	業務内容や名称、また、どこの課に白山ろくに直結した業務があるのかを検討し、誤解を招かない場所を考えたい。来年4月に向けて検討する。
2	白山ろく地域に家を建てたいと思っているが、宅地が少ない状況である。土地利用を含め、若者が定住する制度の見直しをしてほしい。	地主や区長と相談することも大事。また空き家を利用することも可能ではないか。	全国的に空き家がふえているので、今後は定住促進全体を見た中で、リフォーム制度を考えていくことが必要である。市では、対策チームをつくり政策をまとめていきたい。白山ろく振興課と本庁は場所が離れているが、来年度の組織編成に向けて住宅政策を一本化できないか検討していきたい。
3	あさがおテレビでジオパークや白山市のPRの番組など放送しているが、あさがおテレビと契約していなければ見ることはできない。これまで放送されたものを生かすことはできないか。	ジオパークについては、副読本などを作成して認知度を高めており、子供への教育にも利活用ができればいいと思う。また、視点場などに案内看板だけでなく、映像でも周知を増やしつつあるので、ソフトの一つとして使用していくこともできるのではないかと思う。なお、あさがおテレビは独立採算性で運営しており、著作権の関係もあり、活用には検討を要すると思う。	あさがおテレビに加入していない人に見せることは、現段階では考えていないが、ジオパークの教材としての活用も考えられるので、今後あさがおテレビと調整したい。
4	白山ろく地域でも最近では30度を超える日が多く、冷房が設置されていない学校もあるので、勉強能率を上げられないと思う。学習環境を整えてほしい。	冷房がある学校とない学校の差が大きい。地区振興会や町内会からの要望にも入れてほしい。	これまで改築や大規模改修を行った学校には、順次普通教室にエアコンを設置しており、27校中現在整備中の学校を含め13校に設置している。残る14校は扇風機を設置して対応している。しかしながら、厳しい暑さが続いており、健康面や授業への集中などからエアコンの全校配備は必要であると思っている。一斉に配備することは財政的に困難であるため、4、5年中には整備したいと考えている。

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での現状確認と協議内容等
5	<p>最近、子供が連れ去られる事件があったが、地域の協力があつて早期解決ができた。地域で子供を見守るなど安心安全なまちづくりを期待したい。</p>	<p>執行部に伝え、所管の常任委員会で審議していきたい。</p>	<p>市内全小学校において、登下校時の通学路、バス停付近のパトロールや安全指導が行われている。また、緊急避難場所となる子ども 110 番の家が市内に 431 カ所ある。小学校の運動会では市防犯協会約 110 名により防犯支援の活動を行っている。さらに、防犯ホイッスルの配付、幼児交通安全教室、不審者対策の啓発活動を行っている。警察、学校、PTA、学校ボランティア、市防犯協会など関係団体及び町内会と連携し、防犯活動の推進を図るとともに協力体制の維持に努めたい。</p>
6	<p>来年 10 月に全国商工会女性会が開催され、全国から 3,000 人ほど集まるが、金沢で会議をした後に能登や加賀に行くと思う。何とか白山市にも足を運んでほしいと考えているが、J R 松任駅には観光案内所のようなものがなく、観光スポットや食事場所などがわからない。また、駅前でさまざまなイベントが開催されているが、県外からの誘客に対して商工会議所としても活気あるものを工夫して考えていきたい。</p>	<p>新幹線開業 P R 戦略では、鶴来駅に観光案内所を設置する予定になっている。しかし J R 松任駅には観光案内所がないので、これまでも案内所を設置するように一般質問が出ている。北陸新幹線金沢開業を控え、J R 松任駅に来たときに観光地やジオポイントへの誘導など二次交通の問題がある。議会ではしっかりとチェックをしながら取り組んでいる状況である。また、平成 27 年 3 月に全国発酵食品サミットが予定されていることや全国に誇れる白山比咩神社があるので、P R してほしい。</p>	<p>J R 松任駅の構内のスペースや維持管理、費用対効果も考慮して、観光案内所の設置は難しいと考えている。ただその代替として、観光客の問い合わせに対応できるように、駅内に観光問い合わせ用電話の設置ができないか検討している。</p>
7	<p>市内には白山総合車両所と金沢総合車両所松任本所などがあるのに、どうして鉄道のまちとして、もっとアピールしないのか。</p>	<p>複数の議員から、車両所を生かした鉄道のまちとしての大きなイベントを提案しており、今後も検討していきたい。</p>	<p>現在、白山総合車両所の一般公開の開催について J R 側に要望しており、今後、金沢総合車両所松任本所との共同開催についても J R 側に働きかけていきたい。なお公開日が一緒になれば、行政のみならず、イベント等を合わせることで、相乗効果を上げられ、鉄道のまちを大きくアピールできると考えている。</p>

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での現状確認と協議内容等
8	新しく美川図書館が完成した後に、現在の図書館はどうなるのか。	地元に対し、地区公民館にはどうかと投げかけたが、維持管理費の負担などから遠慮したいとの返答を聞いている。今後の計画は決まっていない。	平成23年から地元4町内に対して協議をしているが、維持管理費の負担を含め、少子高齢化から1戸あたりの負担金が大きくなることなどが見込まれるため断られている。今後、もう少し幅を広げて検討していきたい。
9	鶴来支所が市民サービスセンターになることで、市民サービスの低下が懸念される。今後、北鉄鶴来駅を中心どのような交通環境を考えているのか。	現在、鶴来地域と松任地域を結ぶバス路線は1日5往復しかなく、利便性が悪いため、めぐーを運行して利便性向上の検討している。また、白山ろくと鶴来駅の間においても北鉄バスを中心に、めぐーで補うことも検討している。鶴来と松任、白山ろくとの接続については、よりよい運行状況が実現できるよう執行部に伝えていきたい。	つるぎふれあいバスは今年度で廃止し、来年度よりめぐーを運行になり、運行ルートは北鉄鶴来駅を電車、バスの乗り換え拠点として、これまでのふれあいバスのルートをもとに鶴来全域をカバーし利便性の向上を図りたい。また、クレインを松任地域の連絡拠点と位置づけ、松任地域と鶴来地域を結ぶ路線バスを補完するような運行ができないか検討していきたい。
10	最終処分場建設費用36億円の内、24億円が白山市、12億円が野々市市負担ということだが、現在、白山市と野々市市が持ち込んでいるごみの量は調べてあるのか。建設費用の根拠は。	建設費用に関しては、恐らく白山市と野々市市の人口比率などで決められたと思うが、詳しく調べて報告する。現在の管理費はごみの量と人口に応じて処分場の使用料を払っている。	市では広域事務組合に斎場費、清掃費、し尿処理費、消防費の4項目で負担金を出しており、最終処分場の負担金は人口割、ごみの処理量割により算定している。負担割合は白山市67に対し野々市市は33となり、白山市は24億円、野々市市は12億円を負担するものである。
11	ハコモノが造られても管理が十分ではない。相木住宅の住人は草木、樹木の管理について言っている。新たに道の駅をつくっても5年、10年後はほったらかしになるのではないかと。管理対策をしっかりと助言してほしい。	意見として受け止めたい。	宮丸町で計画している道の駅の施設管理は、施設の魅力を損なわないよう、十分な管理を条件に運営管理者の選定に当たりたい。市民や利用者の皆様に親しまれる施設になることが肝要であり、開設後の管理面に十分配慮していきたい。なお、相木住宅の草木等の管理については、指定管理者が年3回から4回状況を見て行っている。